

新東消防署 工事風景

○ 完成予想図



○ 令和7年(2025年)5月12日撮影 【着工前】



新東消防署の建設予定地(東区北33条東18丁目)の写真です。
東区土木センターの隣の敷地となります。

○ 令和7年(2025年)6月23日撮影 【着工前】



工事用の囲いが行われ、いよいよ工事が始まる雰囲気

○ 令和7年(2025年)7月31日撮影 【杭工事】

💡 杭工事とは 💡

杭工事とは、建物が傾かないように地盤に杭を打ち込んで、建物の重さを支える地盤改良工事のことです。



杭工事が始まりました。（※ 敷地全景をパノラマモードで撮影）



大きな重機で杭が打ち込まれていきます。

○ 令和7年8月18日撮影 【土工事】

💡 土工事とは 💡

土工事とは、建物の基礎をつくるために地面を掘り下げる工程のことです。



杭工事が終わり土工事へと移行しました！



重機を使って掘り出し、大型トラックでの搬出が始まりました。



基礎工事に向けて準備が整ってきました。

○ 令和7年9月3日撮影 【基礎配筋工事前】



○ 令和7年9月6日撮影 【基礎配筋工事】

💡 基礎配筋工事とは 💡

基礎配筋工事とは、建物の基礎部分に鉄筋を設計図通りに配置する工事で、建物の安全性と耐久性を高めるために行う工事です。



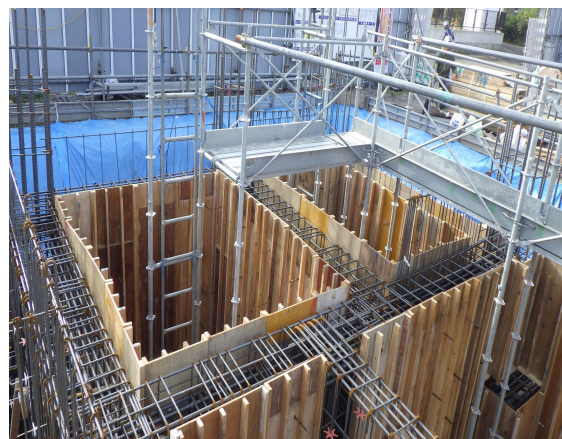
基礎配筋工事へと移行しました！



○ 令和7年9月17日撮影 【基礎型枠工事】

💡 基礎型枠工事とは 💡

基礎型枠工事とは、建物の基礎を作る工程の一部で、コンクリートを流し込むための「型」を組み立てる工事です。





○ 令和7年10月1日撮影 【鉄筋工事】

💡 鉄筋工事とは 💡

鉄筋工事とは、コンクリート構造物の中に「骨組み」となる鉄筋を入れて、建物を補強し、強度を高めるために行われる工事です。

鉄筋は、コンクリートの弱点である引張力の弱さを補い、建物の強度と耐久性に欠かせない重要な役割を担っています。





「後打ち腰壁配筋」が始まっていますね！

💡 後打ち腰壁配筋とは 💡

コンクリートを打設した後に、腰壁の内部に鉄筋を配置・補強する工法です。腰壁とは床から腰 の高さまで設置される壁のことで、後から鉄筋を配筋することで、強度と耐久性を向上することができます。